

2019年度親愛幼稚園事業報告

- ◎社会状況の変化（少子化、働く母親の増加、幼保新制度等）、保護者のニーズを受けてとめつつ、親愛幼稚園の良き伝統を今の時代によりよく生かす工夫と努力を継続して続けてきました。「認定こども園」への移行は当面行わないものの、将来において必要適切と判断したときは移行できるよう体制の整備に努め、保育環境の整備と保育内容の充実を図ってきました。
- ◎園児の安全、セキュリティ強化のため、警察署直結の非常通報装置を最新のものに交換し、また「危機管理マニュアル」を整備しました。
- ◎毎朝、職員の朝礼を行い、聖書の言葉に耳を傾け、祈るひとときを持っています。また各学期開始前の始業礼拝では、各職員が種々の役割分担をすることが定着しました。
- ◎園としての全体的力の向上、保育の充実を図るために、職員の研修を重視しています。2回の園内研修では、特に礼拝と聖話、音楽を中心に行いました。毎月の職員会では聖書や聖歌に親しみ味わう時間を持っています。またクリスマス聖劇の台本と一緒に読み、場面の意味、歌やセリフの理解を深めることにより、子どもたちがより気持ちをこめて取り組めるように努力しました。
- ◎週末礼拝、親子礼拝では年々集中度が高まってきてています。また保護者の礼拝参加の姿勢が深まったのは感謝です。
- ◎耐震工事の最中でしたが、クリスマス礼拝を工夫して礼拝堂で行いました。また新型コロナウイルス感染対策から卒園礼拝および謝恩会を短縮しつつも礼拝堂で行いました。
- ◎保護者を対象とする聖書の会（マリア会）を計9回行いました。今年度の内容は、礼拝堂案内、親愛の保育の願い、礼拝堂でのキリスト教音楽鑑賞、聖書の物語、等でした。熱心な参加者が与えられ、充実した時を過ごすことができました。
- ◎従来の「母の会」の名称を「しんあいの会」に変更しました。
- ◎母の会役員・委員のご尽力、園へのご協力に感謝しています。

園児数

定員 120名

在園児数 125名 (2020年3月現在)

満3歳	11名
年少	34名
年中	41名
年長	39名

実施した年間諸行事

□2020年1月に日本国内で発生したコロナウイルス感染対策のため、2020年3月は卒園式、終園式以外1ヶ月間休園とした。4月～2月までの行事は実施した。実施に当たっては前年度の反省点を振り返りながら改善に努め一つ一つの行事を行った。

毎週： 体育あそび、週末礼拝（全園児）

毎月： 誕生日会、身体測定、個人面談、親子礼拝（誕生日の祝福）、お茶のお稽古（年長）

- 4月 : 始園式、入園式、イースター礼拝、1年生おめでとう会
 5月 : 内科検診、歯科検診、家庭訪問、若草山遠足、荒池親子遠足
 6月 : 眼科検診、土曜参観（父ご招待）、クラルテ人形劇団観劇、自主地震防火避難訓練
 交通安全教室
 7月 : お泊りキャンプ（年長）、終園式、長期休暇中預かり保育（7～8月 21日間）
 8月 : 夏季保育（3日間）
 9月 : 始園式、萩の集い（祖父母ご招待）
 10月 : 運動会予行練習、運動会、保育参観、さつまいも掘り遠足、球根植え
 11月 : バザー、自由保育参観、収穫感謝祭、個人懇談
 聖劇写真撮影（年長）、がんばろう遠足（年長）
 12月 : クリスマス礼拝（聖劇）および祝会、キャロリング、自主地震防火避難訓練、
 終園式　長期休暇中預かり保育（12月 1日間）
 1月 : 始園式、おもちつき、作品展
 2月 : 豆まき、おわかれ会、年中ご招待のお茶会（年長・中）、
 母ご招待のお茶会（年長）
 3月 : 卒園礼拝および保育証書授与式（39名）、
 終園式、長期休暇中預かり保育（3月 6日間）

危機管理への取り組み

- 5月29日 交通安全教室
- 6月18日 自主地震防火避難訓練
- 12月18日 自主防火避難訓練

【指導】奈良県警 **【内容】**交通ルールについて
【内容】地震、火災を想定した避難訓練（非常ベル
 鳴らす）通報の練習、防災映画鑑賞
【内容】火災を想定した避難訓練（非常ベル鳴らす）、
 通報の練習、防災映画鑑賞

2019年度 構成員

<役 員>

- 理 事（9名）
 監 事（2名）

<評 議 員> (19名)

<教 職 員>

- 園 長（1名）
 副園長（1名）
 主 任（2名）
 教 員（11名）
 職 員（3名）